

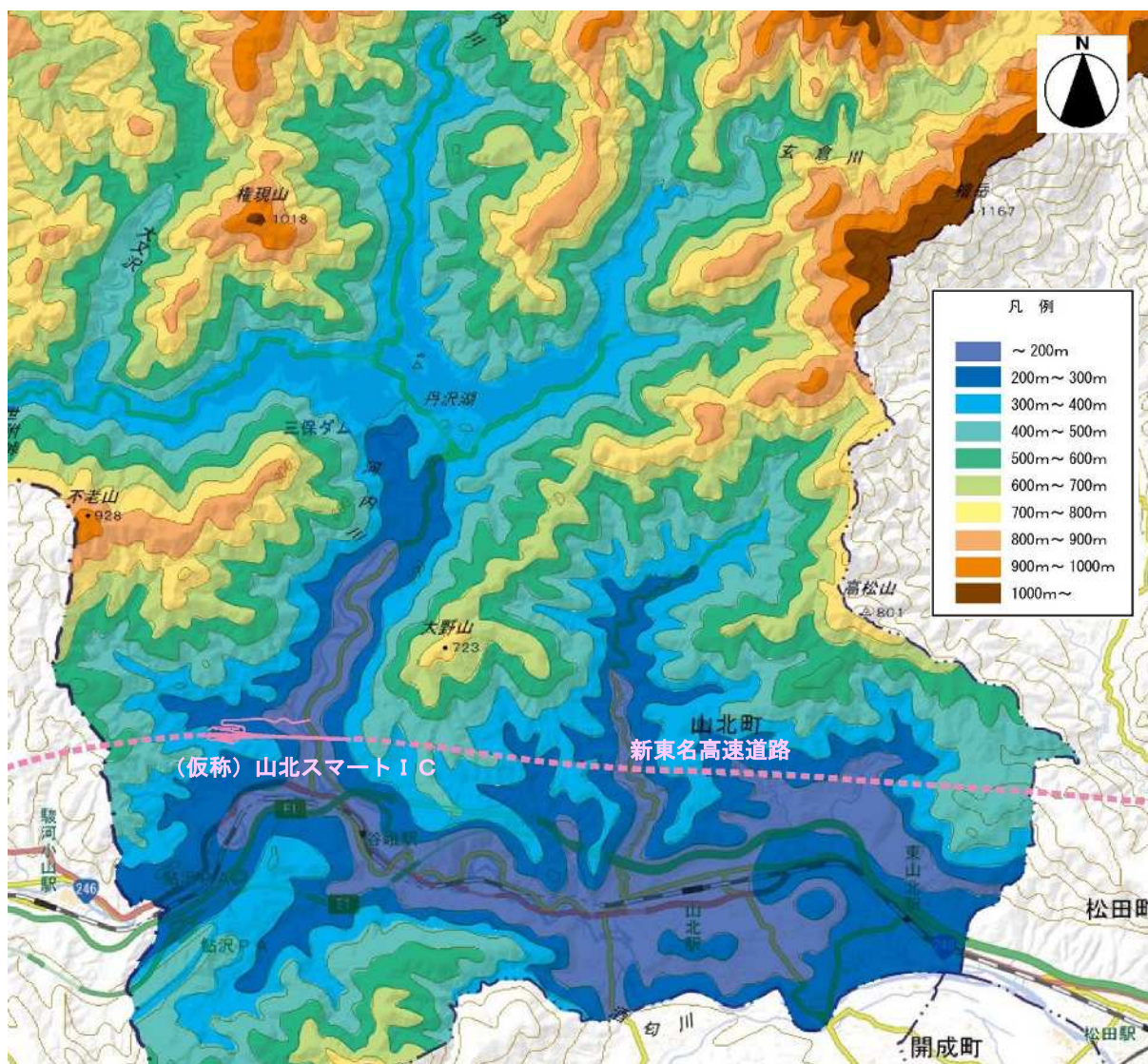
# ◆基礎条件の整理

## 1. 自然条件

### (1) (仮称) 山北スマートIC周辺地域の地形

- ・(仮称) 山北スマートIC周辺は、標高 900m から 300m の斜面地となっている。
- ・南西方向に視界が開け、大野山等では相模湾や富士山への眺望が得られる。
- ・平坦地は少なく、河内川および酒匂川沿いの谷筋にみられる程度で、集落地、農耕地として利用されている。
- ・丹沢湖の北側には、標高 1,000m を超える丹沢山地が広がる。

■地形区分図



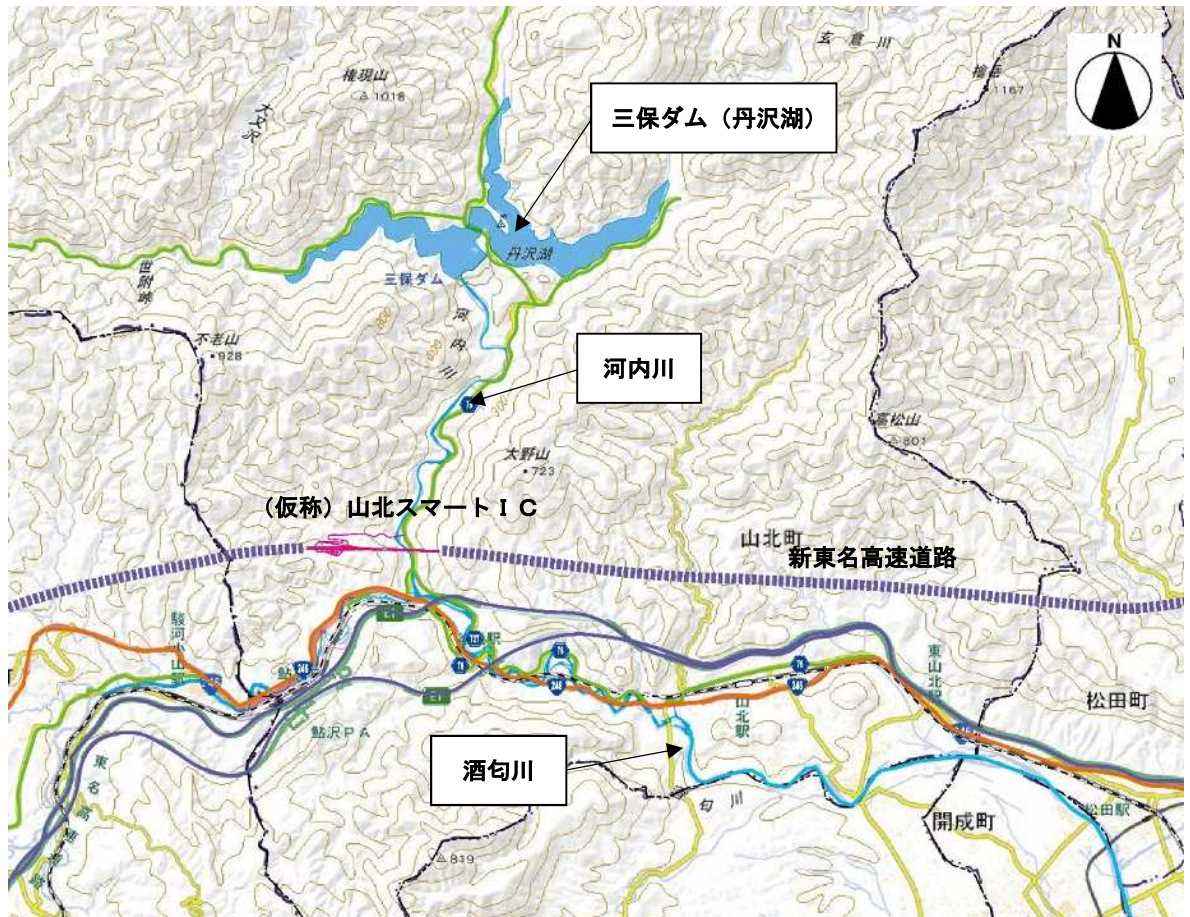
注) 地形図は、国土地理院地図(電子版)を使用



## (2) 河川の状況

- ・丹沢山地を源流とする河内川が南北方向に貫流し、JR 御殿場線谷峨駅付近で二級河川酒匂川に合流している。
- ・河内川には、三保ダムが建設されており、ダム湖である丹沢湖周辺は、豊かな森林に恵まれた水源地域として、町を代表する観光拠点となっている。

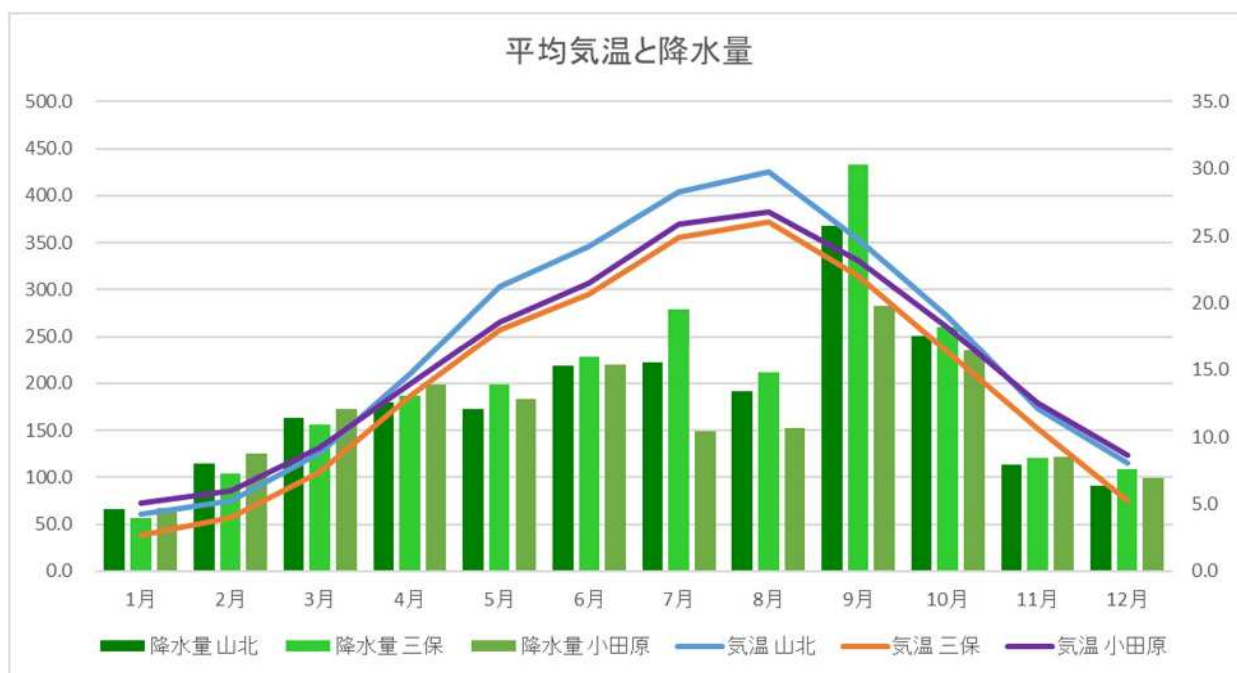
■河川図



注) 地形図は、国土地理院地図（電子版）を使用

### (3) 気象状況

- ・ 平均気温をみると、山間部の三保地区は市街地部の山北地区とくらべると、約 3℃程度低くなっている。
- ・ 降水量は、9 月、10 月が多く、年間降水量は 2500 mm 程度となっている。



出典；山北町統計書

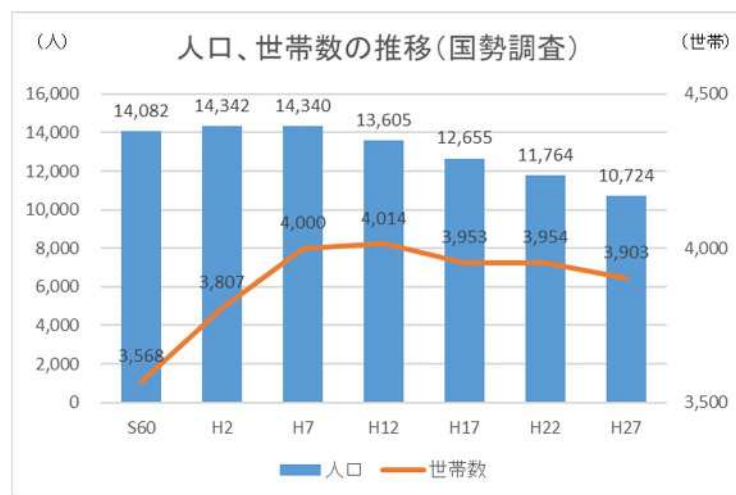
注)・山北町の気象データは、午前9時に測定したもの

- ・「小田原」の気象グラフは気象庁統計データをもとに  
(株)CPCが作成

## 2. 社会条件

### (1) 人口動態

- ・山北町の人口は、平成7年度から減少傾向を示している。直近の10年では、平成21年4月の12,301人から平成30年4月の10,484人と1,817人減少している。
- ・自然動態では、出生が年々減少傾向を示しており、社会動態によるの減少を上回る減少を示している。
- ・年齢別人口をみると、高齢化が進んでいることがうかがえる。
- ・地区別人口をみると、山北地区に人口が集中しており、山間部に位置する三保、共和、清水地区は、山北地区の20%程度となっている。



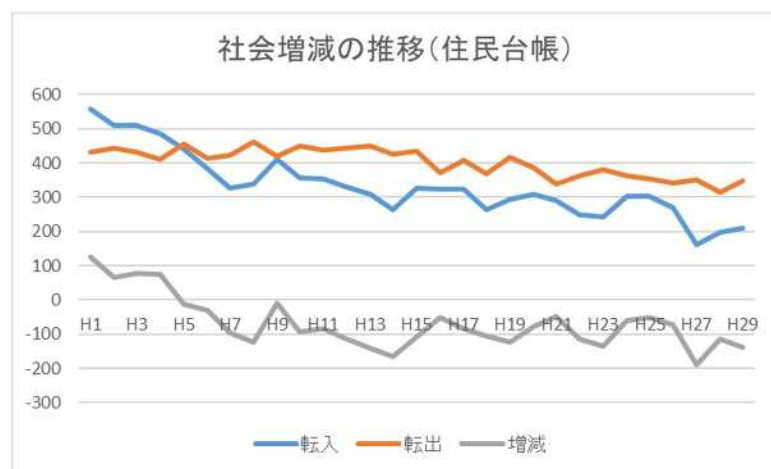
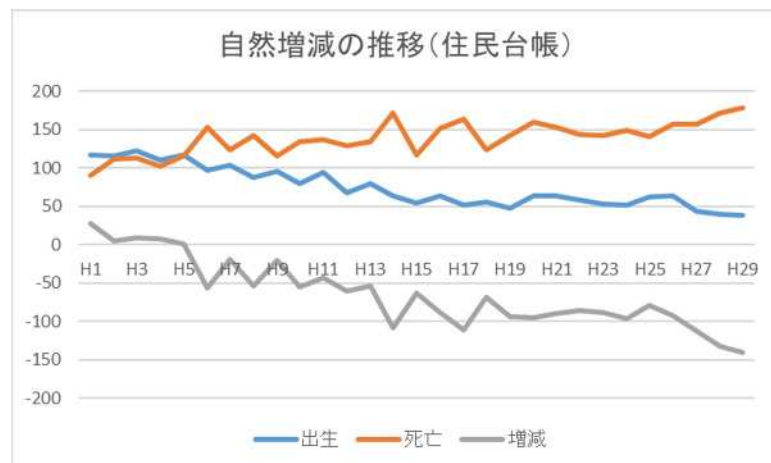
出典；国勢調査

注) 各年 10 月 1 日現在



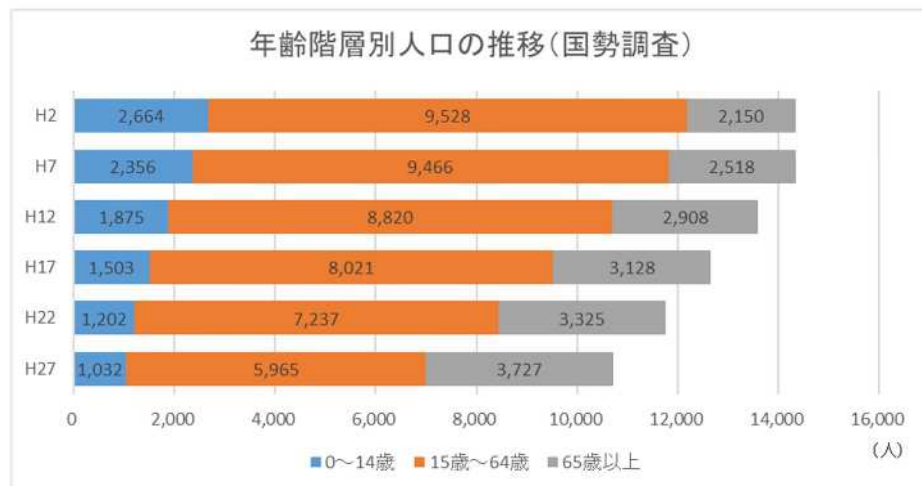
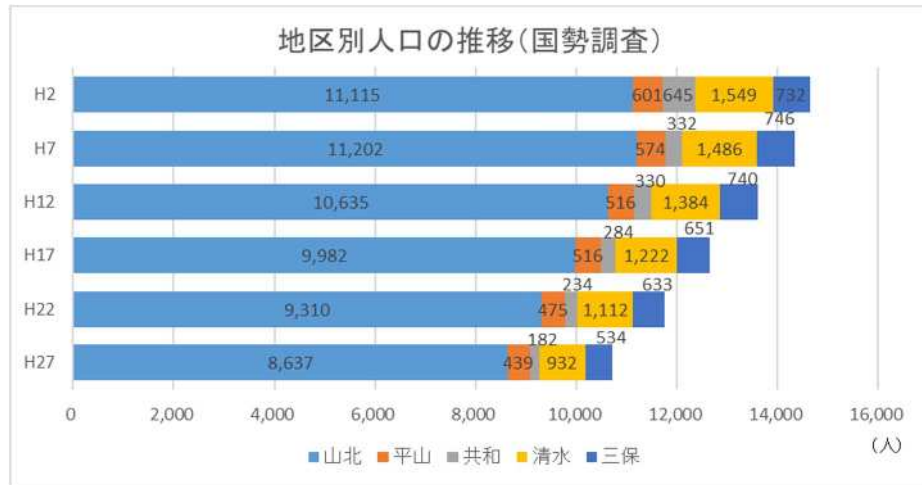
出典；住民基本台帳

注) 各年 4 月 1 日現在



出典；住民基本台帳

注) 各年4月1日～翌年3月31日



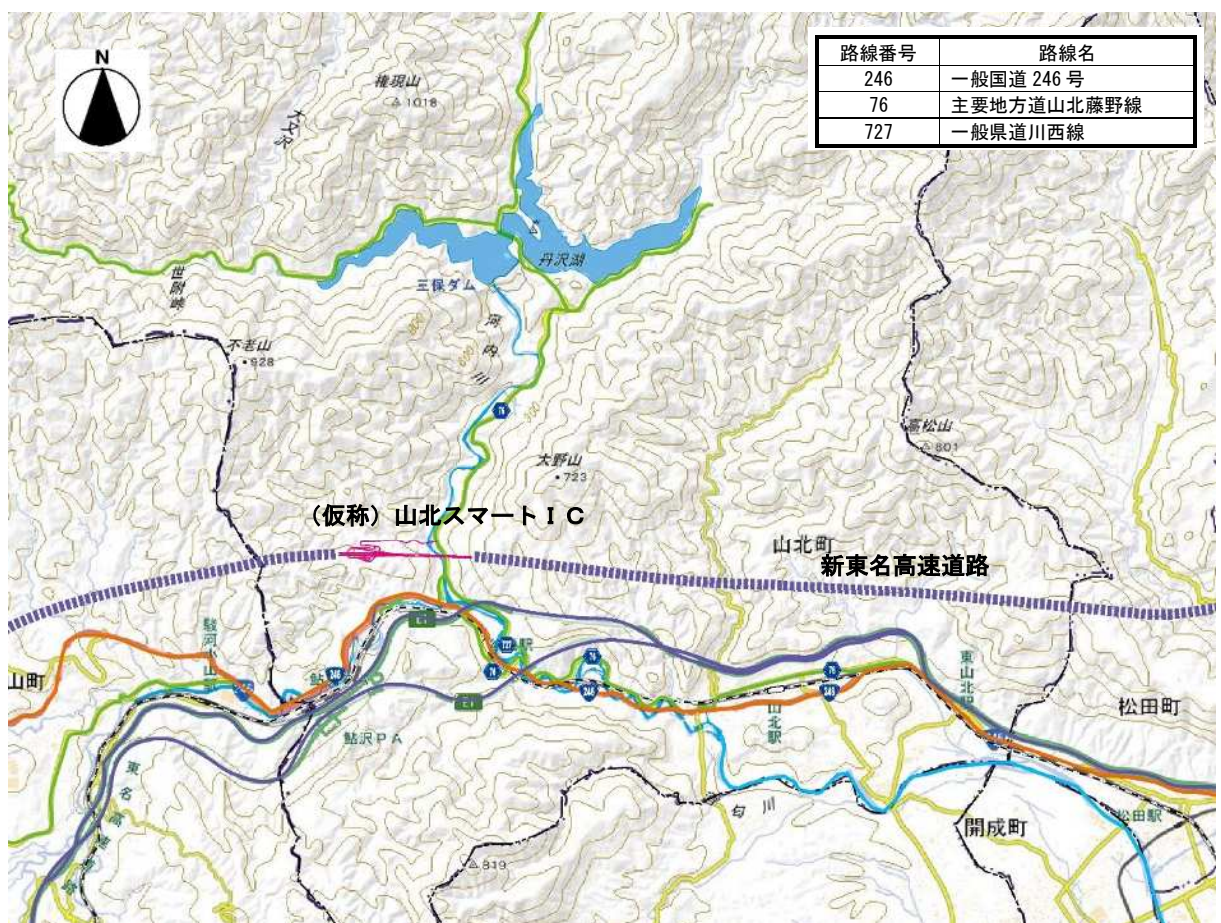
出典：国勢調査



## (2) 交通網

- ・町域の南端部を東西に東名高速道路、国道 246 号、主要地方道山北藤野線、一般県道川西線が並行して位置している。東京都心部から 80 km圏に位置するものの、現状では、町域に東名高速道路のインターチェンジは設置されていない。
- ・東名高速道路の北側に並行して新東名高速道路が整備中であり、町内川西地区に（仮称）山北スマート I C が設置される。
- ・主要地方道山北藤野線は、国道 246 号から分岐し、丹沢湖方向へと北上するが、町内で行き止まりとなっており、町域を縦貫し、他市町村と連絡する道路がない。

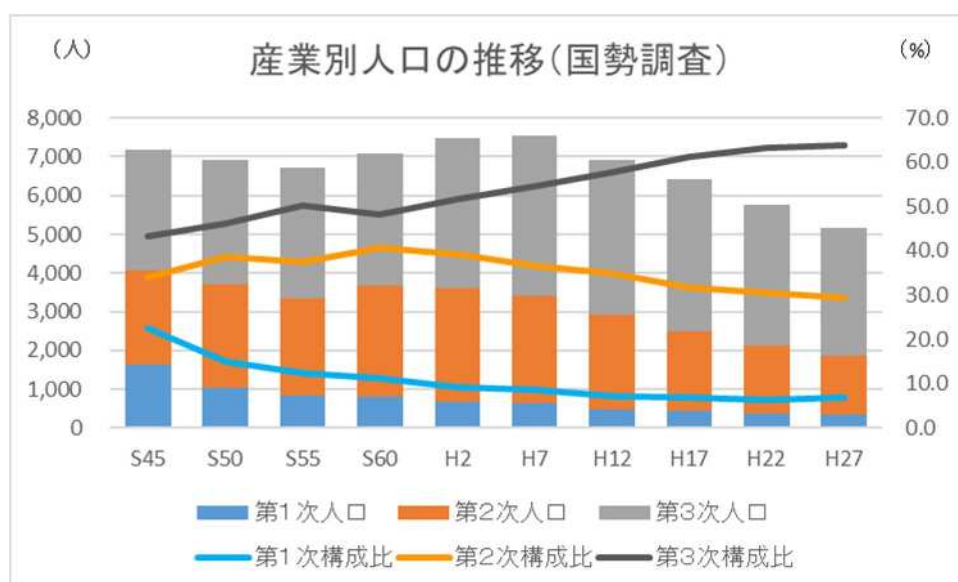
### ■道路網図



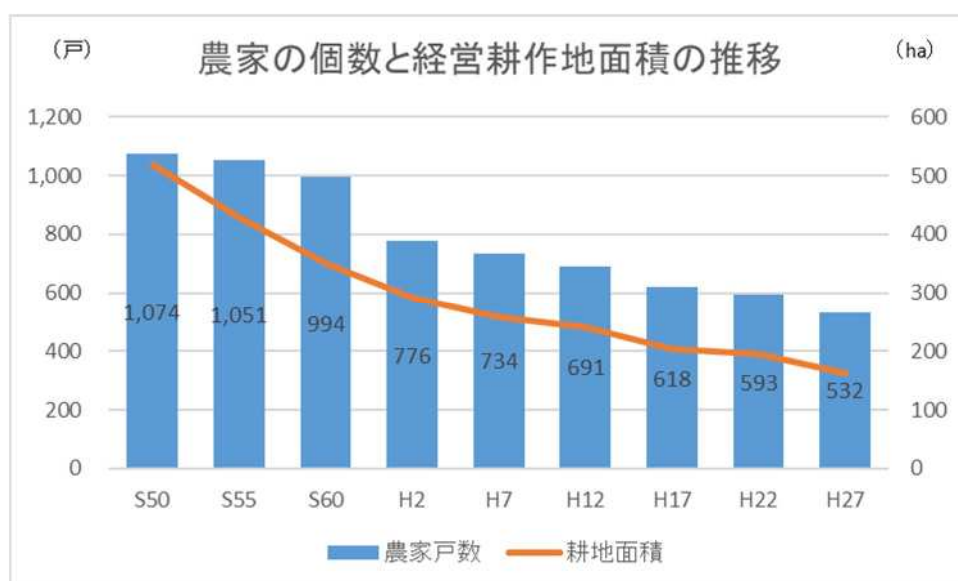
注) 地形図は、国土地理院地図（電子版）を使用

### (3) 産業

- ・人口の減少に伴い、産業人口も減少傾向となっており、平成7年度をピークに減少を続けている。
- ・産業別人口の構成比率をみると、第3次産業の比率が伸びを見せる一方、第2次産業の構成比率が減少傾向を示している。第1次産業は平成7年度からほぼ横ばいの状況となっている。
- ・農家戸数及び経営耕地面積は、昭和50年度から連続して減少傾向にあり、昭和50年度と平成27年度を比べると農家戸数は、1,074戸から532戸に、耕地面積は518haから162haに減少している。耕作放棄地は、平成27年度では、162haの約46%にあたる77haとなっている。
- ・国道246号沿いに、工業団地が分布している。近年は、工業従業員数、事業所数の減少に伴い、製造品出荷額にやや減少傾向がみられる。

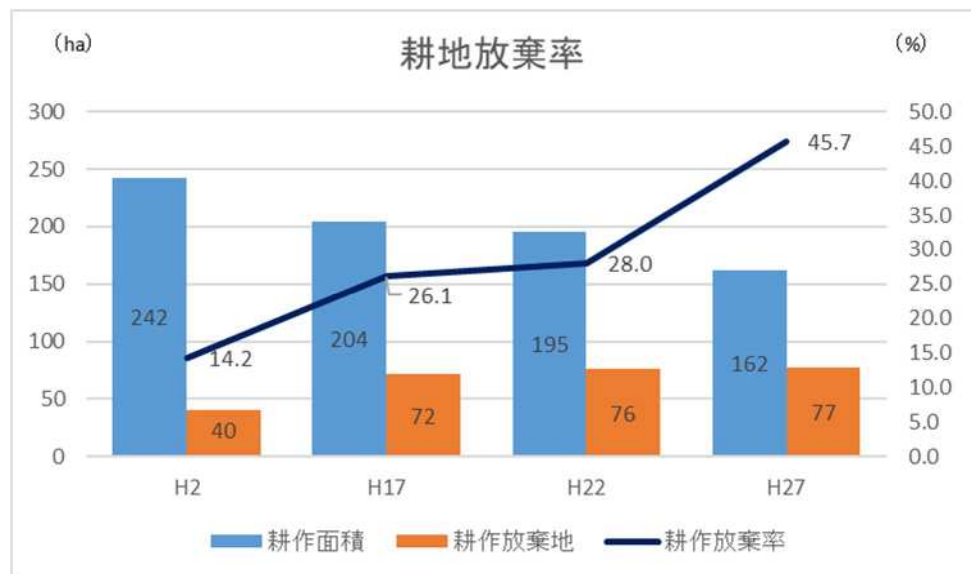


出典：国勢調査書

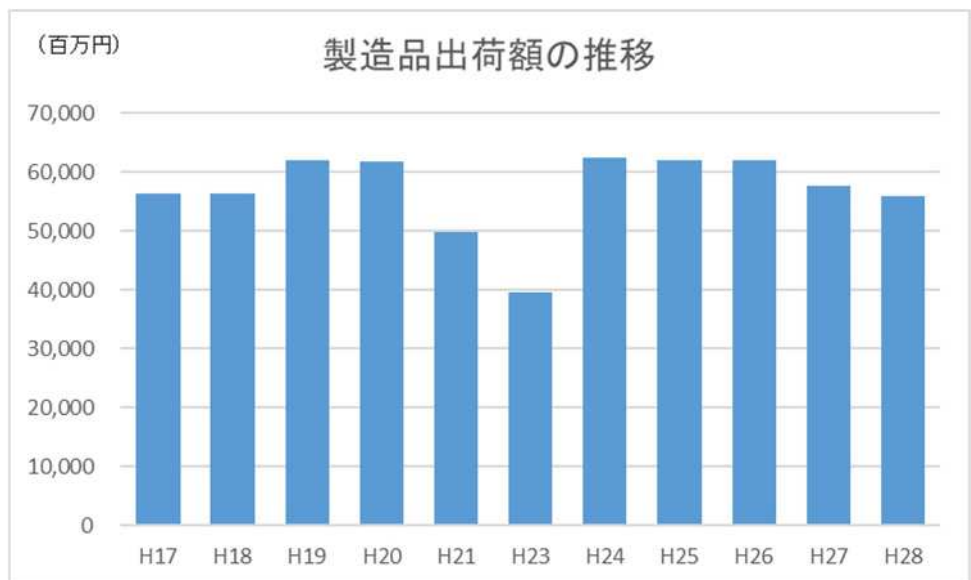


出典：農林業センサス

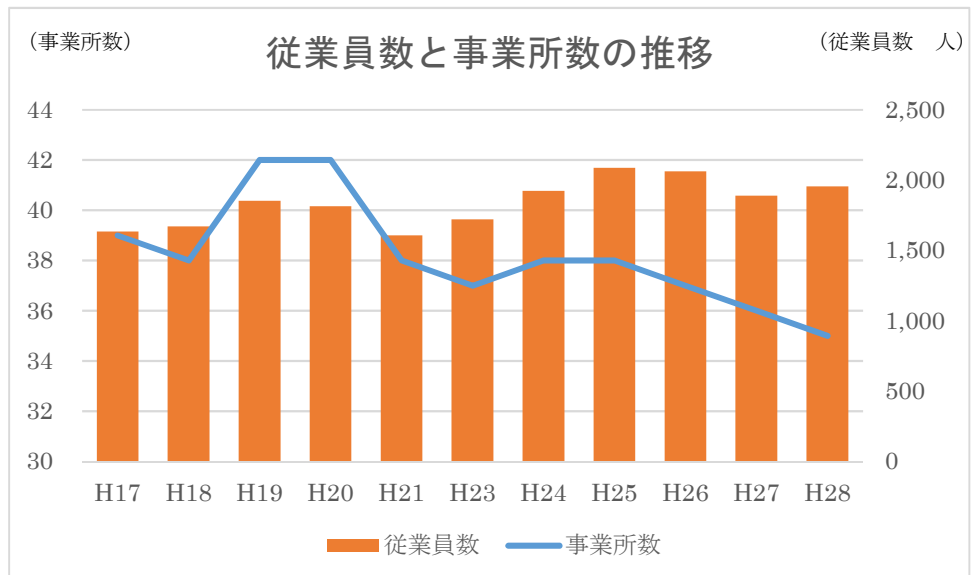




出典：農林業センサス



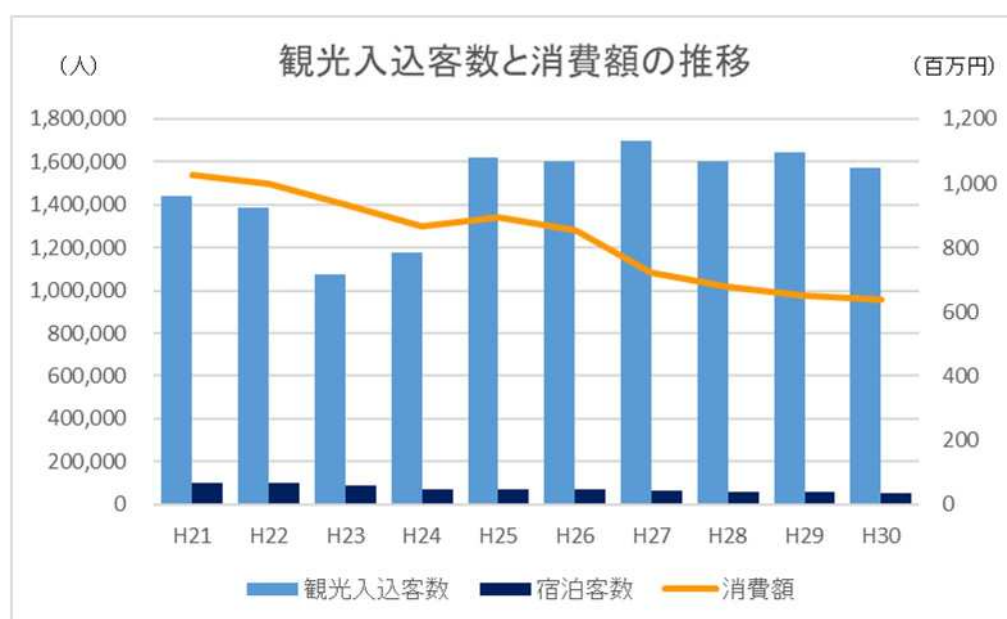
出典：工業統計調査、経済センサス



出典：工業統計調査、経済センサス

#### (4) 観光資源

- ・東京都心から 80km 圏内に位置する豊かな自然環境に抱かれて、丹沢大山国定公園、中川温泉、丹沢湖・三保ダム、大野山、高松山、洒水の滝、河村城跡など豊富な観光資源が分布している。
- ・やまきた桜まつり、カヌーマラソン IN 丹沢湖、丹沢湖花火大会、西丹沢もみじ祭り、丹沢湖ハーフマラソン大会など、四季折々のイベントが開催され、多くの観光入込客がある。
- ・多くの集客性の高い観光資源が集中分布する一方、滞在型施設が減少しており、観光消費額の減少につながっている。



出典：山北町統計書

■主要観光施設観光入込客数

| 観光施設名称      | 観光入込客数（人/年） |             |
|-------------|-------------|-------------|
|             | H29         | H30         |
| 丹沢湖・三保ダム    | 1, 145, 333 | 1, 069, 997 |
| 中川温泉        | 86, 240     | 86, 483     |
| 丹沢湖周辺キャンプ場  | 19, 058     | 18, 885     |
| ひだまりの里      | 6, 808      | 7, 045      |
| 河内川ふれあいビレッジ | 14, 073     | 15, 473     |
| 道の駅山北       | 59, 877     | 61, 366     |
| 大野山         | 59, 755     | 56, 739     |
| 洒水の滝        | 215, 324    | 201, 161    |
| 河村城跡        | 4, 729      | 4, 242      |
| 高松山         | 42, 190     | 40, 004     |

出典；山北町提供観光統計データ

■主要観光施設位置図



注）地形図は、国土地理院地図（電子版）を使用



■主要観光イベント観光入込客数

| イベント名称             | 観光入込客数  |         |
|--------------------|---------|---------|
|                    | H29     | H30     |
| やまきた桜まつり           | 100,000 | 120,000 |
| 大野山開き              | 3,500   | 3,500   |
| 西丹沢山開き             | 1,500   | 1,500   |
| カヌーマラソン IN 丹沢湖     | 262     | 287     |
| 洒水の滝祭り             | 3,000   | 2,500   |
| 丹沢湖花火大会            | 32,000  | 38,000  |
| 鉄道の町山北 D52 フェスティバル | 1,200   | 1,500   |
| 室生神社流鏝馬            | 1,800   | 1,800   |
| 西丹沢もみじ祭り           | 1,020   | 1,082   |
| 山北町産業まつり           | 6,500   | 8,000   |
| 丹沢湖ハーフマラソン大会       | 2,955   | 2,981   |
| 世附百万遍念仏（能安寺）       | 1,000   | 1,000   |

出典：山北町提供観光統計データ

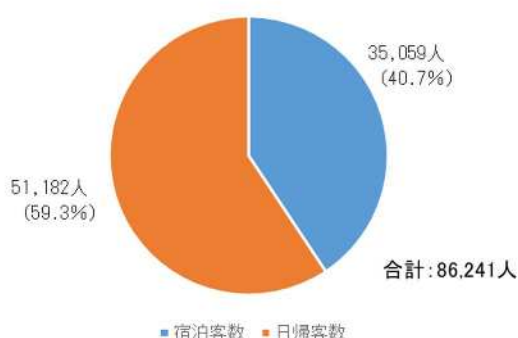
■主要観光イベント開催位置



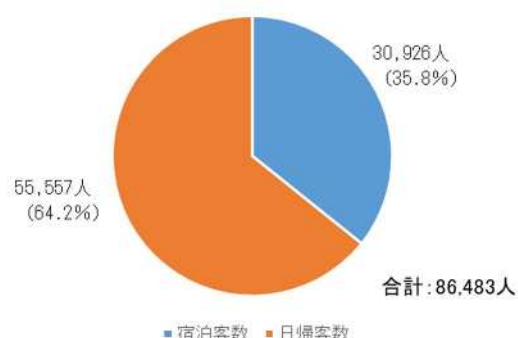
注）地形図は、国土地理院地図（電子版）を使用

- ・丹沢湖上流側には、中川温泉やキャンプ場などの宿泊施設が集中している。丹沢湖下流側には、「ひだまりの里」、「河内川ふれあいビレッジ」の2か所のキャンプ場が整備されている。
- ・平成29年度、30年度の中川温泉の観光観光入込客数を見ると、年間約86,000人の利用があり、うち、40%程度が宿泊利用となっている。
- ・平成29年度、30年度のキャンプ場の観光入込客数を見ると、年間約40,000人の利用があり、うち、55%程度が宿泊利用となっており、H29-H30では、利用客数の増加傾向を示している。
- ・丹沢湖上流側（中川温泉周辺、玄倉川周辺）と丹沢湖下流側（「ひだまりの里」、「河内川ふれあいビレッジ」の2か所）のキャンプ場利用を比較すると、約20,000人とほぼ同数の利用客数となっている。
- ・丹沢湖上流側でのキャンプ場利用はやや減少傾向を示しているのに対し、丹沢湖下流側の2か所のキャンプ場利用はともに増加傾向を示しており、自然滞在型の観光施設としては、突出して利用が集中していることがうかがえる。

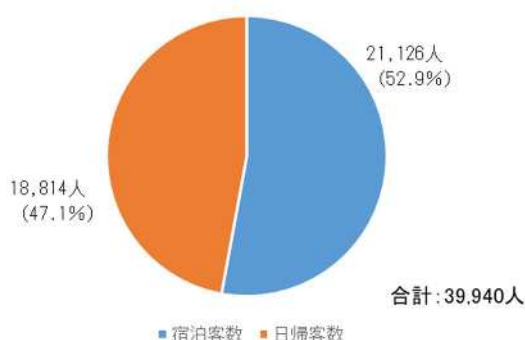
宿泊施設(民宿・旅館)利用客数(H29)



宿泊施設(民宿・旅館)利用客数(H30)



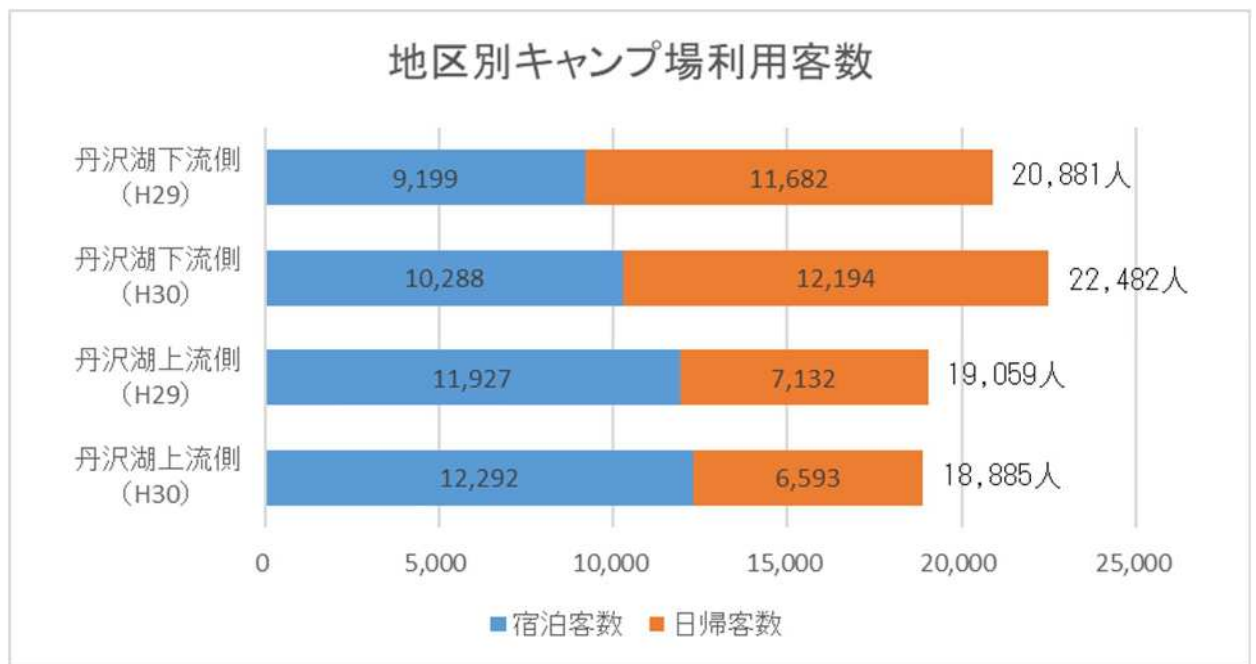
キャンプ場利用客数(H29)



キャンプ場利用客数(H30)



出典：山北町提供観光統計データ



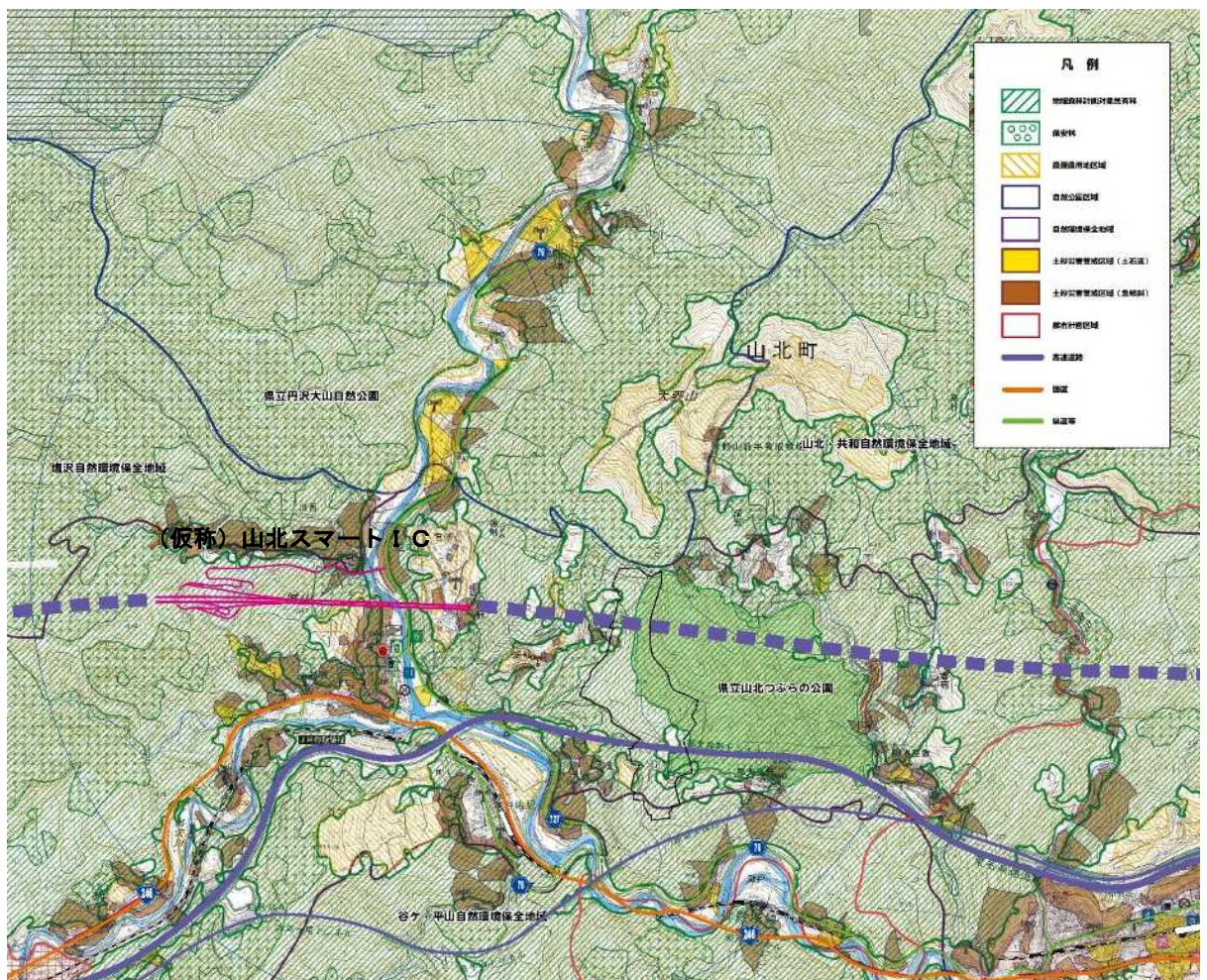
出典：山北町提供観光統計データ



### 3. 法規制状況

- ・(仮称) 山北スマートIC周辺は、都市計画区域外となり、自然公園区域、自然環境保全地域、保安林、農振農用地区域等の保全系の法規制が地域の広範囲にわたって指定されている。
- ・そのほか、斜面地には土砂災害警戒区域（土石流、急傾斜地の崩壊）が広範囲に指定されている。
- ・土地利用にあたっては、「山北町土地利用に関する基本条例」の適用を受ける。

#### ■法規制図



出典；土地利用調整総合視線ネットワークシステム（国土交通省）

山北町都市計画図

山北町土砂災害ハザードマップ



みんなで作る 魅力あふれる元気なまち やまきた

## **(仮称) 山北スマートＩＣ周辺土地利用構想**

発行 山北町

〒258-0195 神奈川県足柄上郡山北町山北 1301 番地 4

電話：0465-75-1122

<https://www.town.yamakita.kanagawa.jp/>

発行日 令和 2（2020）年 3 月